



令和8年度農業体験・食農教育支援事業の事業内容変更について

このことについて、農業体験内容を見直し、従来行っていた野菜栽培（広甘藍）を廃止し、柑橘栽培（レモン）を新たに実施しますのでお知らせします。

1 事業目的

市内小学生を対象に、市内で生産される農産物を生産農家の指導のもと、実際に生産現場において児童が田植えや整枝・摘果から収穫までの作業を通して、農作物栽培の苦労や収穫の喜びを体験し、農作物が自分たちの食卓に出てくるまでの工程を学習し、農業に対する興味や、食の大切さを学習する。

2 事業概要

(1) 米栽培（平成11年から実施）

日本人の主食である米栽培の歴史を学び、昔ながらの手作業による田植えや稲刈り、現代農業の機械作業の体験をする。

(2) 【廃】野菜栽培（平成21年から実施）

呉市伝統野菜である広甘藍の栽培から販売までの体験をする。

(3) 【新】柑橘栽培

広島県が日本一の生産量を誇るレモンの生理生態を実地で学び、樹木管理から収穫・選果までの体験をする。

（開催時期）	米栽培		【廃】野菜栽培		【新】柑橘栽培	
第1回目	田植え	5月下旬	苗定植	9月上旬	花観察	5月中旬
第2回目	中間観察	8月下旬	収穫	12月上旬	整枝・摘果	7月中旬
第3回目	収穫	10月上旬	販売	12月中旬	収穫・選果	12月中旬

※年度当初に学校教育課を通じて市内各学校に募集をしております。

3 見直しの経緯

野菜栽培について、呉市の伝統野菜「広甘藍」の認知度が一定程度向上したと考えられることに加え、生産者の高齢化等により、当事業の引き受け手が見つかり辛い状況となっていることから体験内容の見直しを行いました。新たな体験内容として、広島県が日本一の生産量を誇るが生理生態等の認知度が低いレモンの栽培を選定しました。